

王寺幼稚園「防災紙芝居」開催報告

- 1 日 時：平成 23 年 1 月 12 日（水） 10：00～10：40
- 2 場 所：奈良県北葛城郡王寺町 王寺幼稚園
- 3 講 師：有限会社コラボねっと&NPO法人さくらネット
神戸市消防局
神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット 3 年生
神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット 3 年生
(陪席) NPO法人都市災害に備える技術者の会
- 4 対象者：王寺幼稚園園児 約 140 名
園長（1 人） 担任（11 人）
- 5 催しの内容
 - 1) 自己紹介
 - 2) 防災の歌 合唱
地震編、洪水編、火災編、防災編のうち地震編を「どんぐりころころ」のメロディーで替え歌として歌った
(地震編) 歌詞
♪ 1 グラット地震がやってきた
慌てず すばやく 火の始末
頭と命を守ったら
ラジオで状況確かめて！
2 家具から離れて ひと安心
建物避けよう 命がけ
長袖 長ズボンに衣替え
まだまだ 余震にご用心！
 - 3) 災害の映像
阪神・淡路大震災の様子を約 3 分間紹介
 - 4) 紙芝居
 - ・題 名：『ぶーたん と とんとんの“じしんがきたら どうするの？”』
 - ・内容：8 分 紙芝居を CD に収録し、プロジェクターを使ってスクリーンに映写

①あらすじ：双子の子ブタ、ぶーたん と とんとんは、とっても仲良し。ある日、ぶーたんが村を散歩していると、おばさん達が、「大きな地震が起きるかもしれない」という噂話をしていました。地震について全く知らない、ぶーたん と とんとん。ぶーたんは地震の勉強をし、地震が起きる前の準備をします。一方、とんとんは部屋でゴロゴロするだけです。ある日、本当に地震がやってきて…。準備をしていたぶーたんは無事でしたが、何もしていなかったとんとんは大変なことに…。とんとんは準備をしていなかったことを反省し、ぶーたんに協力してもらいながら、地震が起きて大丈夫なように、しっかり準備をすることにしました。

②紙芝居の目的：地震が起きる前に、備えておくことの大切さを知ってもらう
地震が起きた時には、しっかり頭を守ることを知ってもらう

③地震から命を守るために大切なこと：

- ・地震が起きたら、小さくなって、しっかり頭を守ること
- ・部屋をいつもきれいに片づけておくこと
- ・ケガをした時のために救急セットを用意しておくこと

5) ○×クイズ：紙芝居終了後園児に上記3つの大切なことを質問し、答えを○×でこたえてもらう

1. 地震が起きた時は、頭を守る。 → ○
(しっかり頭を守ろうね)
2. 地震が起きた時は、走って外に出る。 → ×
(走って外に出ると危ないよ！先生の言うことをしっかり聞いてね)
3. ぶーたんがおばさんにもらった本は、おかしの本である。 → ×
(ぶーたんがもらったのは、地震の本だよ)
4. 地震は、いつ起きるかわからない。 → ○
(地震はいつ起きるかわからないよ！)
5. 地震が起きる前に、しっかり準備をすることが大切である。 → ○
(地震が起きる前に、しっかり準備しておこうね)

6) 手遊び(団子虫のポーズなど)

手遊び：「山小屋いっけん」の替え歌

♪歌：こぶたが 一匹 おりました
あるとき お家が 揺れました
ぐらぐら ぐらぐら 地震だよ
さあ、どうしよう？
たすけて たすけて 地震だよ
大丈夫だよ、落ち着いて！
1、2、3、で変身だ！
みんなでダンゴ虫

7) 終了式 プレゼント：園児全員に「ぶーたんのメダル」(紙製)をプレゼントする。

裏には・今日はありがとう。地震がきたら、頭を守ってね。また遊ぼうね。

・今日はありがとう。今日勉強したことを、お家の人に教えてあげてね。
また遊ぼうね。

・今日はありがとう。ダンゴ虫のポーズを覚えておいてね。また遊ぼうね。

の3種類のメッセージが書かれている。

6 防災紙芝居実施状況：



さあ、紙芝居が始まるよ



熱心に紙芝居を見ています



座布団を頭のうえに



クイズの答え ○



手遊びをしましょう



おしまい

8 感想

3歳から5歳の幼稚園児に地震のお話がどの程度理解してもらえるか、効果はどうかと当初心配していたが、これまで多くの幼稚園で経験を重ねてきたこともあり、上手な話し方と園児を話の方へ引き付けるノウハウを持っているのか、園児は私語もなく熱心にお姉さん・お兄さんのお話に聞き入っていた。

紙芝居の始まりや、クイズを始めるときは少しざわついたが「さあ、始めますよ」と言ってから静かになるまでの時間が非常に短く、よく日頃から先生の指導が行き届いているのだろうとは講師の感想であった。

また、紙芝居の中で話した「5つの大切なこと」を紙芝居終了後クイズで確認したが、殆どの園児が正解であった。

紙芝居中に良く聴いていた証であり、家に帰っても親御さんに紙芝居の話をしたり、また、本人たちの頭の片隅に少しは残っていて、いざの時少しは役に立つのではないかという期待を持った。

お土産に渡したペンダント「ぶーたんのメダル」（紙製）が余程嬉しかったのか、幼稚園を去るまで何度もお礼を言われ恐縮の至りであった。

(以上)